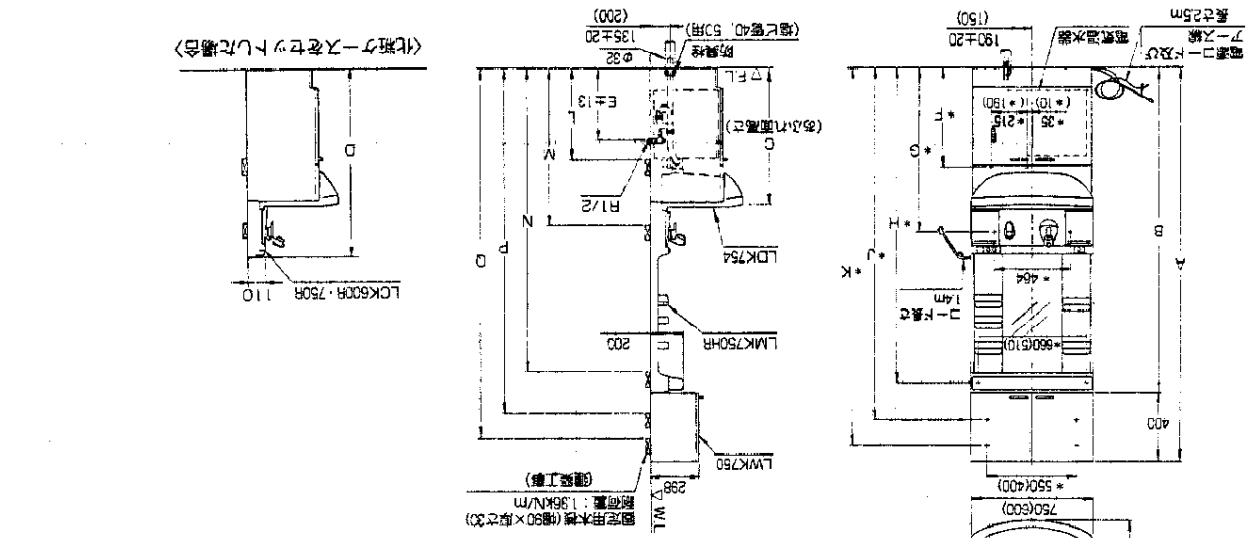


製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q
LDK604A・754A	2250	1850	750	1070	370	530	910	1795	2010	2160	485	865	1725	1965	2115
LDK604B・754B	2300	1900	800	1120	420	580	960	1845	2060	2210	535	915	1775	2015	2165
LDSK604C・754C	2350	1950	850	1170	470	630	1010	1895	2110	2260	585	965	1825	2065	2215



サイズ	水栓	電気温水器 (消費電力)
750	吐水口回転タイプ	25Lタイプ (24.5L) (600W)
600	吐水口回転タイプ	12Lタイプ (11.7L) (505W)

- 特殊品の場合の工事方法は、承認図を確認してください。
- 壁排水の場合は、取付できませんので注釈してください。
- 図はLDK754BSD+LMK750HRタイプです。
- その他の機種は外形形状が若干異なります。
- LDSK604・754Cタイプは、(洗面化粧台+台輪)になります。
- ( ) 寸法は600サイズを示します。
- \*印は、木ねじ位置です。

☆工事寸法

**警告**

電気温水器の設置は、必ず「有資格者」が行ってください。電気工事、給排水工事は、職業者による施工してください。

壁固定ねじ取付位置に穴を入れて、ビスをねじ込んでください。

ビスが壁に届かない場合は、ビスの長さを変更してください。

ビスの長さを変更する場合は、ビスの長さを変更してください。

ビスの長さを変更する場合は、ビスの長さを変更してください。

**警告**

電気温水器の設置は、必ず「有資格者」が行ってください。

電気温水器の設置は、必ず「有資格者」が行ってください。

電気温水器の設置は、必ず「有資格者」が行ってください。

**注意**

水倒れ防止工事を行う際は、必ず「有資格者」が行ってください。

水倒れ防止工事を行う際は、必ず「有資格者」が行ってください。

水倒れ防止工事を行う際は、必ず「有資格者」が行ってください。

● 本体に同梱されている取扱説明書及び保証書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事後、引き続きお客様にお渡しください。

☆安全上の注意

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

この施工説明書と水栓金具に同梱されている説明書を合わせてご確認ください。

取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

● この説明書では、商品が安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。

● 使用時や他の人々への危害や物損を未然に防止するために、必ずお守りください。

● 表示

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡又は重傷など、負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

● このような表示は、してはならない「禁止」内容です。

LDK604・754, LMK600・601・750~755  
LCK600・750, LFK600・750, LWK600・750

☆付属部品明細

洗面化粧台 LDK

#16,17,18は本機に同梱

数量	名称
1個	1 水受けトレイ(2ヶ所) 9-1702M
1個	2 ホーアケイK(2ヶ所) 9-1702M
1個	3 排水ふた
1個	4 給水ふた
1個	5 防臭栓
7本	6 立た用木ねじ (φ3×12)
2本	7 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)
1冊	8 取付説明書(保証書付)
1セット	9 排水トラップ
1セット	10 連結パイプ(説明書同梱)
1セット	11 水栓一式(保証書同梱)
1個	12 止水栓
1本	13 排水ホース(電気温水器の水抜き用)
1個	14 連結器
1個	15 ソケット
1個	16 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)
2個	17 化粧キヤップ
1個	18 ストップ

化粧鏡 LMK

数量	名称
1セット	1 鏡フタ立て
1個	2 蛍光灯カバー
1本	3 化粧キヤップ
2個	4 扉
2本	5 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)

化粧ケーシング LCK

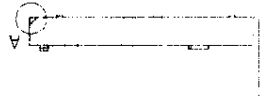
数量	名称
1セット	1 鏡フタ立て

①電源コード用の切欠き

●電源コード及びアース線を取出す側の側板を下図寸法でカットしてください。  
※台鏡がセットされる場合は、化粧台側板のカットは不要です。

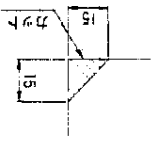


(化粧台用台鏡)



(フロア・トイレキヤベネット用台鏡)

●フロア・トイレキヤベネットを化粧台の横にセットする場合は、台鏡の左右側板をカットしてください。



※カット面は、コードを挿し込むためにやすりで面取りしてください。

☆取付手順 (番号順に取付けてください。)

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨張するおそれがありますので設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮らしてください。
- 取付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆取付前の準備

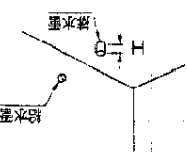
- キヤベネットの壁固定部分には、壁面に固定用木ねじを入れてください。
- 特にフロア・トイレキヤベネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁面に固定用木ねじを入れてください。
- (壁面に固定用木ねじが入れられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に入れてください。
- 給水管を所定の位置に取出してください。
- 器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に取出してください。
- 排水管はV40、V50又は、VPA5、VPS0をご使用ください。(右表参照)

☆あらかじめ必要な電気工事

- (1)電源は、交流100V (50/60Hz)、温水器消費電力600W (2SLタイプ) 505W (12Lタイプ) に適した配線をしてください。
- (2)総消費電力が2000Wを超える場合は別途配線を設けてください。
- (3)漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

単位: mm

高さ	H寸法
850	130
800	80
750	30



②洗面化粧台の取付け

※すきま埋めペースター (LDB) を取付ける際は、化粧台を取付ける前に行ってください。  
(同梱の施工説明書を参照してください。)

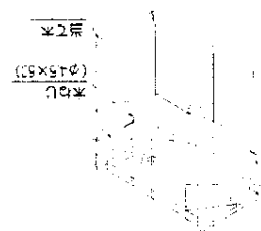
●洗面化粧台の横にフロアキヤベネットとトイレキヤベネットを取付けたフロアキヤベネットを据えつけたあとに、洗面化粧台を取付けてください。  
(フロアキヤベネット又は、トイレキヤベネットと同梱の施工説明書を参照してください。)



(1)電源コード及びアース線を下図のように取出してください。  
●付属の排水ふたにコード用の切欠きをつけてください。

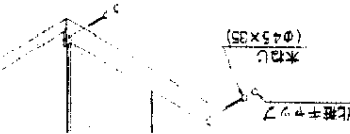


(注) コードをささないように注意してください。



(2)付属の木ねじ(2本)で壁固定してください。  
※床が水平でない場合には、扉に段差ができ、おそれがある場合は、扉を調整して段差をなくしてください。(調整要領は扉裏面に張付けのラベルを参照してください。)

●付属の排水ふたにコード用の切欠きをつけてください。  
●付属の排水ふたにコード用の切欠きをつけてください。  
※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじを用いてください。



※台鏡をセットする場合は、台鏡の上に化粧台をのせて、木ねじ(台鏡と同梱)で固定し化粧キヤップを取付けてください。

台鏡 LFK

数量	名称
2本	1 連結用木ねじ (φ4.5×35)
2個	2 化粧キヤップ

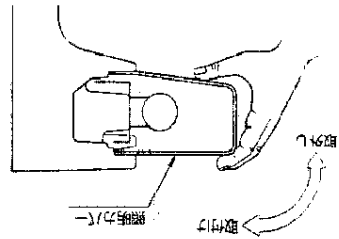
ウォールキヤベネット LWK

数量	名称
4本	1 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)
2	2 化粧キヤップ

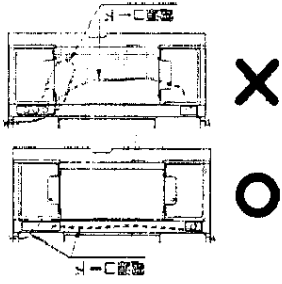
### ③化粧鏡・化粧ケーシングの取付け > 化粧ケーシングの場合は(1)のみの施工になります。

- (1)化粧鏡・化粧ケーシングを洗面化粧台の上のせて左右の位置合わせをしてください。
- その際、化粧鏡の場合は電源ケーシングを本体側面の溝から外に出しておいてください。
- ※化粧鏡開口部に電源ケーシングをたまるませないようしてください。
- (2)化粧鏡の上部を化粧鏡の木ねじ(2本)で所定の位置に確実に固定してください。
- ※取付壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますがゆがまないよう、木ねじのねじ代を調整しながらねじ込んでください。
- 壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面に当て木をしてください。
- ※壁固定は所定の固定穴を使用してください。
- 電源ケーシングと化粧鏡が接触しないよう、またケーシングをはさまないようにはりつけてください。
- ※タイル・コンクリート壁の場合は、取付け位置に下穴をあけ、木ねじ用ワッシャーを打込んでおいてください。
- (3)化粧鏡本体の周波数は50Hzにセットされていますので、60Hz地域での使用の場合は入イッチを60Hzに切替えてください。(切替えは入イッチをスライドさせてください。)
- (4)付属の蛍光灯ソケットを取付けてください。
- ※フロアランプのゆるみがないか確認したあと照明カバーを取付けてください。
- (5)差込プラグをコンセントに接続してください。その際ケーシングを兼ねたまま接続しないでください。
- ※プラグ差込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので確認の上接続してください。

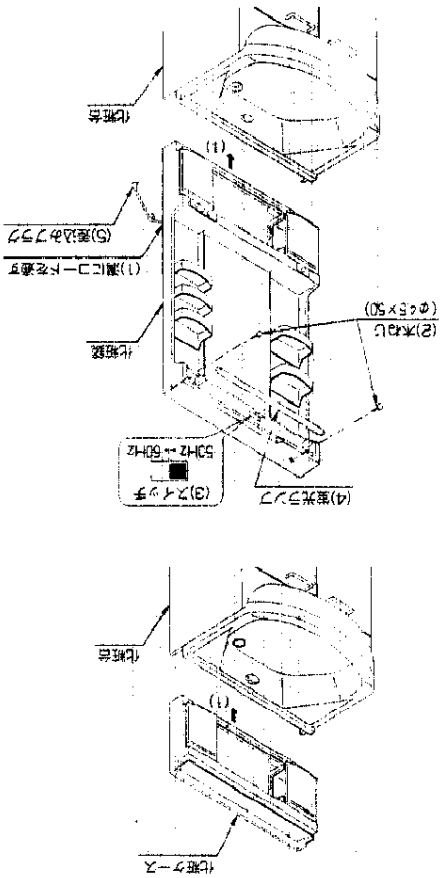
#### カバーの取付方法



#### 電源ケーシングの確認

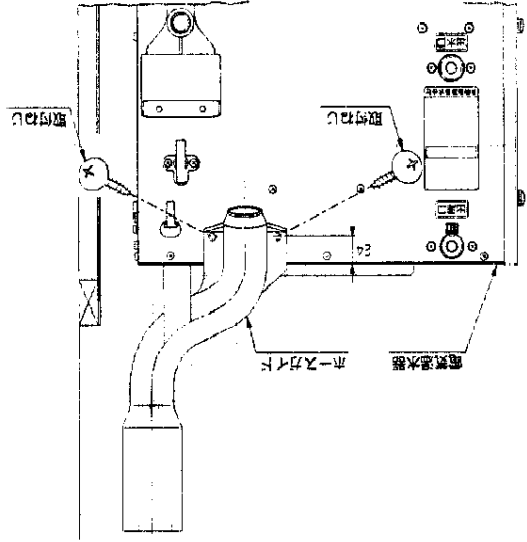


※電源ケーシングが開口部内にあるので、いらないか確認してください。



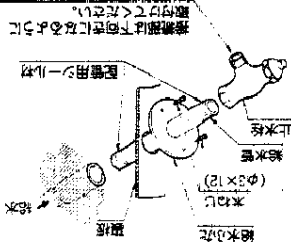
### ④ホースガイドの取付け (シャワー・タイマのみ)

- (1)電気温水器側面の取付け(2本)を外してください。
- (2)ホースガイドを(1)で外した取付けで電気温水器に固定してください。



### ⑤止水栓の取付け

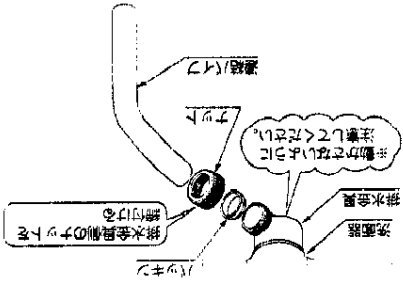
- 工具で確実に取付けてください。



※止水栓は、連結パイプに同極の説明書を参照してください。

### ⑥連結パイプの取付け

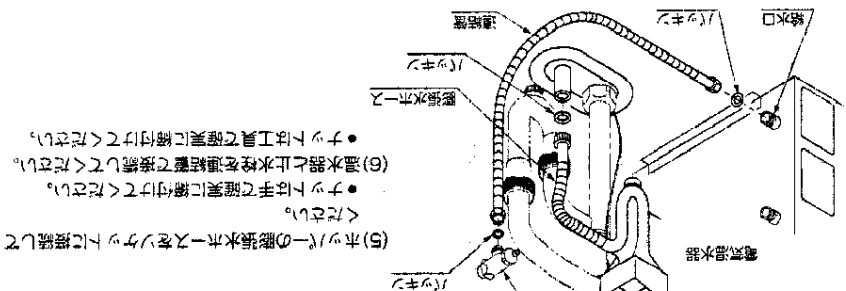
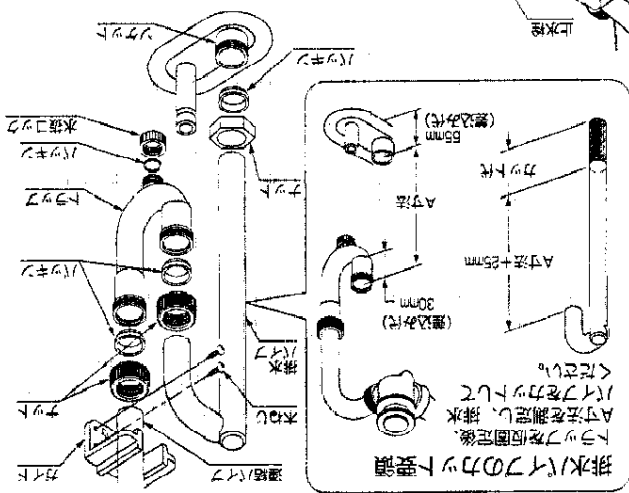
- ※取付要領は、連結パイプに同極の説明書を参照してください。



## ⑦ソケット・排水パイプ及び連結管の取付け

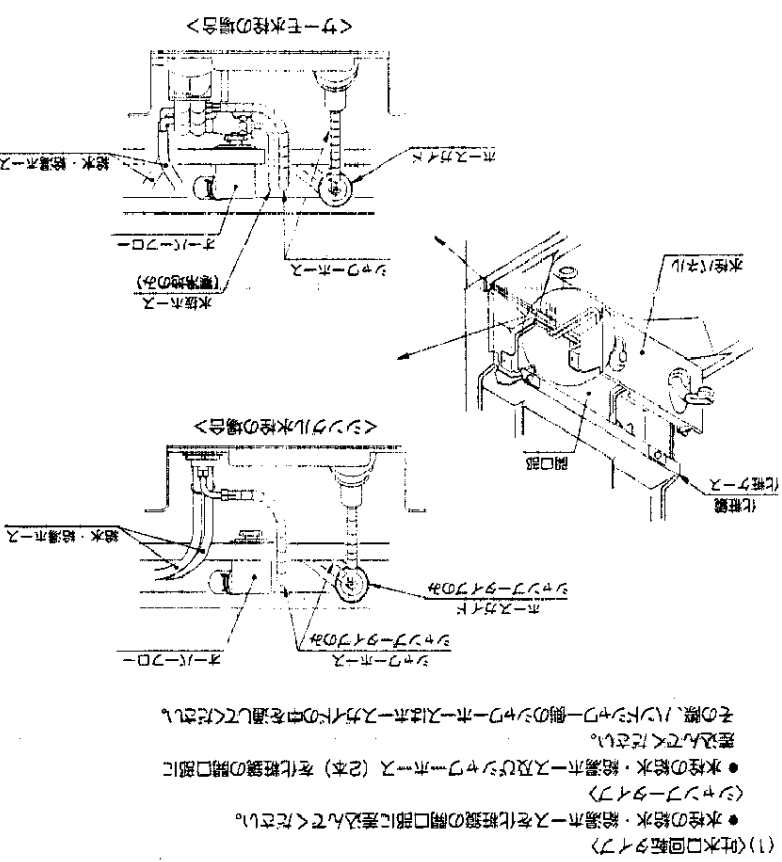
- (1) 排水管に付属の防臭栓は、ソケットを確実に差込んでください。  
注) ソケットの向きは、タイプによって異なります。(下図を参照してください。)
- (2) ソケット部に排水したセッスル屋根に木ねじで固定してください。  
※ 固定がうまく納まらないう場合は、裏面よりパイプねじでカットしてください。

### 排水パイプのカット要領



- (5) ホットの膨張排水パイプをソケットに挿入してください。
- (6) ホットの膨張排水パイプをソケットに挿入してください。
- (7) ホットの膨張排水パイプをソケットに挿入してください。
- (8) ホットの膨張排水パイプをソケットに挿入してください。
- (9) ホットの膨張排水パイプをソケットに挿入してください。

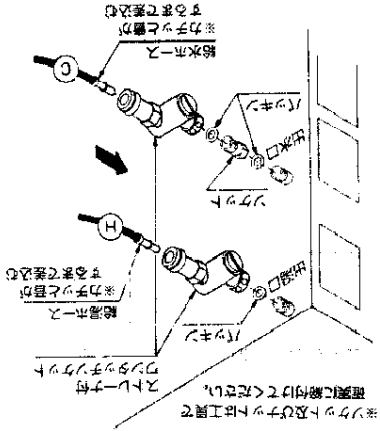
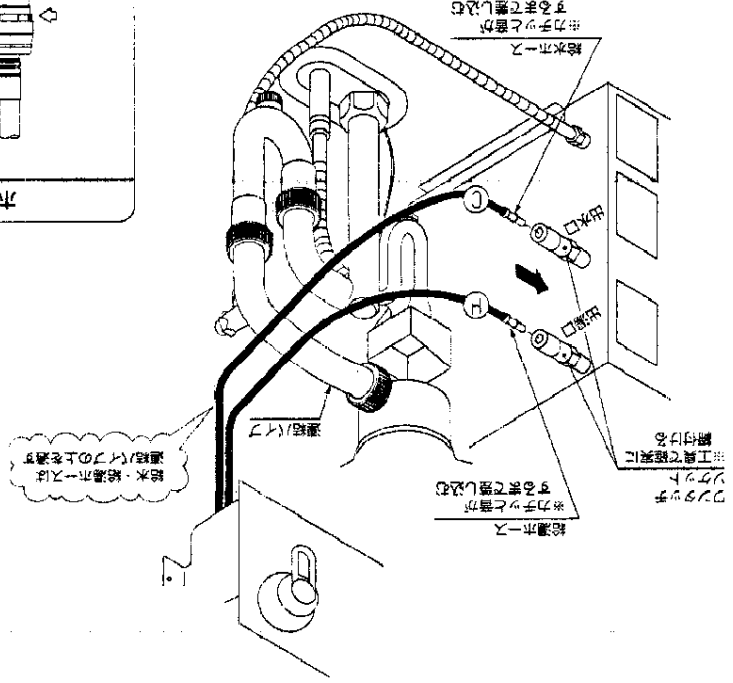
## ⑧水栓パイプの取付け



- (1) 吐水口回転タイプ  
● 水栓の給水・給湯ホースを化粧鏡の開口部に差込んでください。  
● 水栓の給水・給湯ホース及びシャワーホース(2本)を化粧鏡の開口部に差込んでください。  
その際、パイプシャワー側のシャワーホースはホースがパイプの中を通ってください。  
差込んでください。
- (2) 水栓(スリ)を回転させるように  
モットしてください。
- (3) 付属の木ねじ(2本)で確実に固定して、化粧キャップ(2個)をはめ込んでください。その際、電源コードを傷つけないように注意してください。
- (4) 化粧鏡に付属のネジを下記のように取付けてください。  
● 化粧鏡の裏にあるネジを指で押し、扉を傾けて取付けてください。

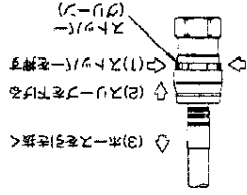
### ⑩給水・給湯ホースの接続

●給水・給湯ホースの接続は、水栓金具と同様の施工説明書を参照してください。



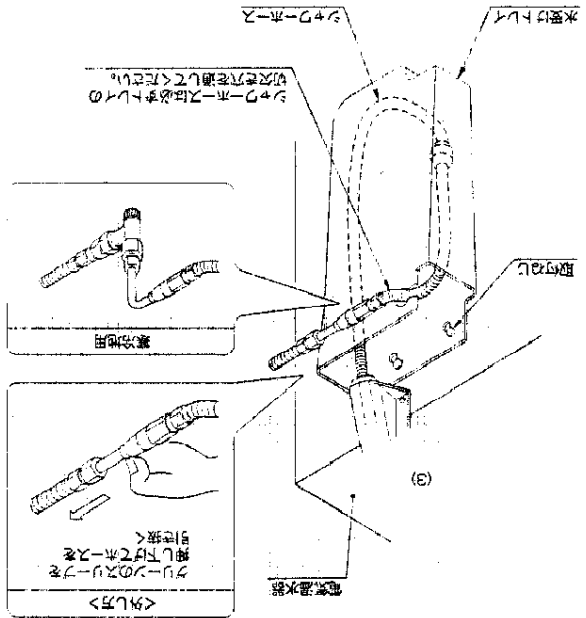
### サーモ水栓の場合

### ホースの外し方

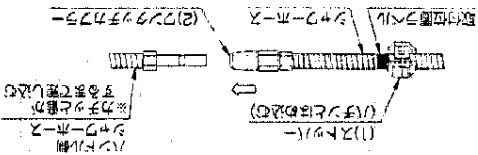
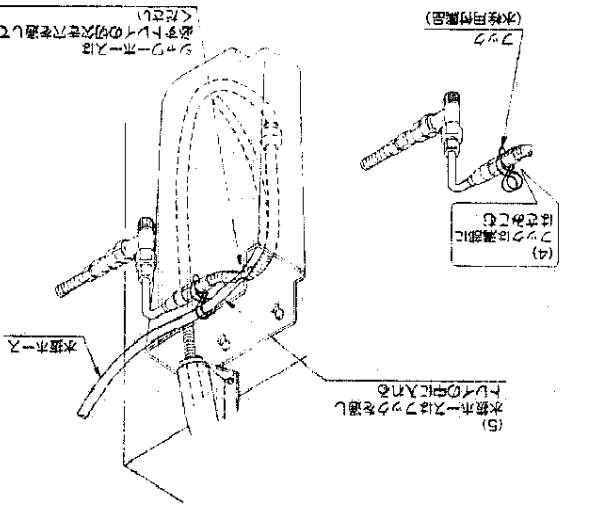


### ⑨シャワーホースの接続及び水受けトレイの取付け (シャワータイプのみ)

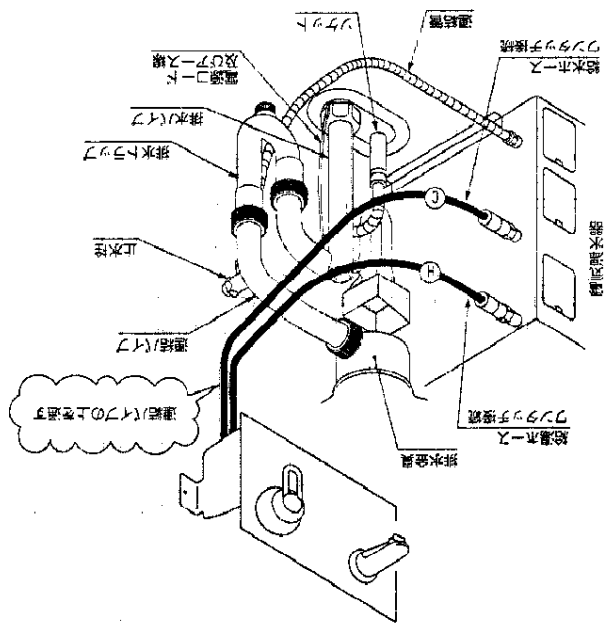
- (1) ホースが取り付けられている取付位置ラベルに合わせてシャワーホースを取付けてください。
- (2) ストップバーを取付けたシャワーホースを、パッド側のシャワーホースと連結してください。
- (3) 水受けトレイにシャワーホースを入れて、電気温水器側面についている取付口にトレイの穴を挿入してください。



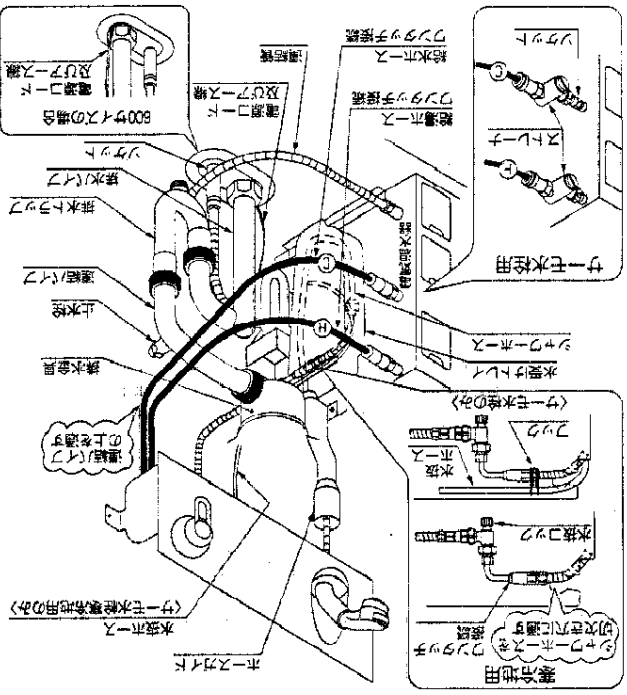
### サーモ水栓寒冷地用のみ



吐水口回転タイプ



シヤツ-517



⑫電気温水器への通水

- (1) 止水栓を開いてください。
- (2) ソノバルブ止水の場合は、バルブハンドルを時計回りに回してバルブを上げてください。逆時計回りに回してバルブを下げてください。
- (3) ソノバルブ止水の場合は、温度調節ハンドルを逆時計回りに回してバルブを右側に回し、バルブを閉めてください。
- (4) 止水栓を開いたら、排水ホースから水が流出するのを確認してください。
- (5) 混合栓から水が流出し始めるまでタンクが満水になるのを待ってください。
- (6) 止水栓を閉めます。
- (7) 止水栓を開くと、排水パイプに排水が行きます。
- (8) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (9) 止水栓を閉めます。
- (10) 止水栓を開くと、排水パイプに排水が行きます。
- (11) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (12) 止水栓を閉めます。
- (13) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (14) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (15) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (16) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (17) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (18) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (19) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (20) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (21) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (22) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (23) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (24) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (25) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (26) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (27) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (28) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (29) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (30) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (31) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (32) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (33) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (34) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (35) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (36) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (37) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (38) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (39) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (40) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (41) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (42) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (43) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (44) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (45) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (46) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (47) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (48) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (49) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (50) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (51) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (52) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (53) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (54) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (55) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (56) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (57) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (58) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (59) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (60) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (61) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (62) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (63) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (64) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (65) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (66) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (67) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (68) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (69) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (70) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (71) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (72) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (73) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (74) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (75) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (76) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (77) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (78) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (79) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (80) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (81) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (82) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (83) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (84) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (85) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (86) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (87) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (88) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (89) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (90) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (91) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (92) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (93) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (94) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (95) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (96) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (97) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (98) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (99) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
- (100) 排水パイプの排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。

⑬アースの接続と通電確認

- (1) アース線をアースターミナルに接続してください。
- (2) 通電確認を次の方法で行ってください。
- (3) 止水防止のため、タンクの満水を確認して電源を入れてください。
- (4) 温水器の差込プラグを、100V用コンセントに差し込み、温水器の電源スイッチを入れてください。
- (5) 温水器の電源スイッチを「切」にする、通電ランプは消えます。
- (6) 温水器の電源スイッチを「切」にしてプラグをコンセントから抜いてください。

☆温度調節 (サーモ水栓の場合のみ)

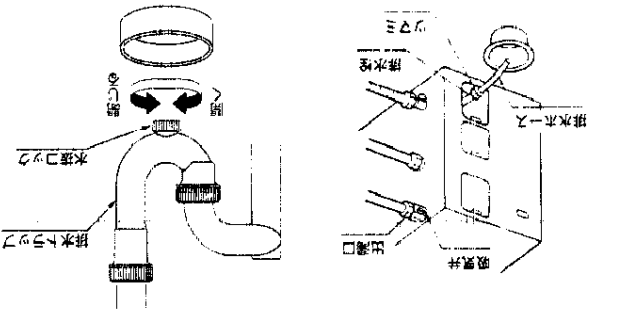
●水栓金具に同梱の取扱説明書参照してください。

☆結露防止

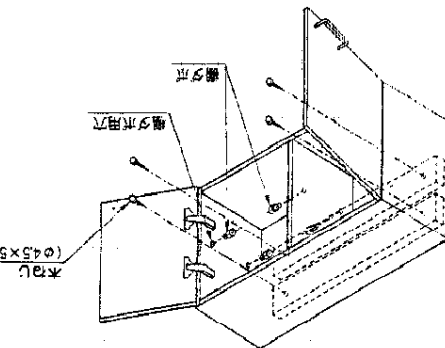
●結露のおそれがある場合は、連結部に市販(16mm用)の断熱材を巻いてください。

☆寒冷地タイプの水抜き

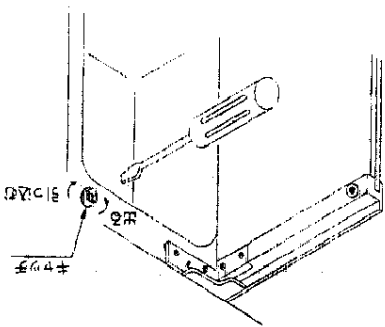
- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きツマミを設けております。
- 凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設置された水抜き操作とあわせて、電気温水器の水抜きをしておいてください。
- また、お客様にも水抜き方法を指導ください。
- <水栓の水抜き>
- 水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書参照してください。
- <排水パイプの水抜き>
- 下図を参照してください。
- <電気温水器の水抜き>
- ① 止水栓を閉めます。
  - ② 下部点検口のふたをはずします。
  - ③ 排水パイプに付属の排水ホースを接続し、ツマミを左に回します。
  - ④ 排水パイプの排水ホースを全開すると排水します。
  - ⑤ 排水後、吸気弁、排水栓は締めてください。



※水抜き後は必ず水抜きツマミを確実に締めてください。



- ☆ウォールキヤビネットの取付け
- (※製品のウォールキヤビネットを取付ける場合は、この方法にしたがってください。)
- ウォールキヤビネットを化粧板の上のせて、水平方向・垂直方向の位置合わせしてください。
  - 付属の木ねじ (4本) で確実に固定してください。
  - 壁のゆがんでいると、キヤビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
  - ※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用フックを打ち込んでおいてください。
  - 棚受けボルトを棚受けボルト用穴に差込み、棚板をのせてください。



- ☆取付完了後の確認と清掃
- キヤビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
  - 2面鏡または3面鏡の場合は袖鏡が確実に閉まるか確認してください。
  - 閉まらない場合は、下図のようにキヤビネットの高さを調整してください。
  - 照明スイッチを押して毎分点灯することを確認してください。
  - コンセントに電気カミソリなどを差込み、通電するか確認してください。
  - <とり止めヒータスイッチを入れて、スイッチ内のコソフカを点検することを確認してください。>
  - 設置後、長期間使用されない場合は差込みフックを抜いてください。
  - 棚受けボルトの抜けかたしを確認してください。
  - 製品についた汚れ (フタスイッチ部品の静電気による黒い汚れを含む) は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
  - その後、水を濡らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからびせしてください。
  - シンナー・ベンジンなどの使用は表面の着色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。